

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(株) 東京スタジアム

2 実施日時

令和元年7月11日(木) 10時54分～11時12分

3 出席者

- ・団体側出席者：横溝社長、立田総務部長、
小室スポーツ推進部長(オリパラ準備局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

近隣の住民から、騒音について意見等は寄せられているか。

○横溝社長

数年前に騒音や光の漏れについて実験を行った。苦情は少ない。ただ最近、イベントでヘリコプターを飛ばす際には、イベント会社でも相当気を遣っており、飛ぶ回数を減らしたり、住宅の上をなるべく飛ばないようにするなど、努力してもらっている。

○小池知事

海外のスタジアムなどはエンターテインメント性を高め、テーマパークのようになり、東京スタジアムも多摩地域のまちおこしの拠点になり得ると思う。現在、世界ではどこが参考になるのか。

○横溝社長

アジアではシンガポール。アメリカではヤンキースタジアムなど。5月にアメリカの映画会社の方にご視察いただいたが、最初に言われたのは「レストランはないか」とのことであった。向こうは観ながら食べる文化がある。

○小池知事

アンダーアーマー社のあるメリーランド州は、全体をスポーツの街のようにしている。海外の事例を見に行くのであれば、そこで得た知見を都の他の施設にも共有していただきたい。

○遠藤総務局長

Jリーグでは、新たなスポンサーがスタジアムを自分たちで建てようという事例も出てきている。東京スタジアムも頑張らないといけない。

敷地がない中で、全体をボールパークみたいにするのは難しい課題であるが、どのように進めていくのか。

○横溝社長

施設自体は東京都のものなので、我々としてはアイデアや方向性を示し、ベストプラクティスを皆で考えていきたいと思っている。

場所がないと言ったが、周辺の敷地はすごく広い。沿道沿いや敷地の中の一部に施設を造ることは物理的にできる。長期的にこういうことをしたいという考え方を整理していきたい。